米コヨーテ・ポイント社ロードバランサの最新版「Equalizer LXシリーズ」を販売開始

ITインフラのソリューション・ディストリビュータである株式会社ネットワールド(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 森田 晶一)は、米Coyote Point Systems(コヨーテ・ポイント・システムズ)社(本社：米ニューヨーク州)製のWebアプリケーションサーバの負荷分散に優れたロードバランサ「Equalizer（イコライザー）シリーズ」の最新シリーズである「Equalizer LXシリーズ」を提供開始することを発表します。
新しい「Equalizer LXシリーズ」の内、ミッドレンジ市場をターゲットとする「Equalizer E370LX」を、本日4月3日 から販売開始し、出荷は5月初旬を予定しています。

「Equalizerシリーズ」は、レイヤー4による負荷分散方式とソースIPによるセッション維持機能に加え、レイヤー7対応によるコンテンツスイッチ機能を搭載するロードバランサです。
最新の「Equalizer LXシリーズ」は、新しいハードウェアプラットフォーム（2GBメモリ、デュアルコアCPU、40GB SSD）を採用したことにより、従来モデル「Equalizer GXシリーズ」と比較して、通常のトラフィックの処理能力が約6倍（※1)に向上しています。
さらに、今回販売開始する「Equalizer E370LX」は、従来シリーズの同等モデル「E350GX」と価格は変わらないので、より優れたコストパフォーマンスを提供します。

また、管理画面に日本語GUIを採用したことにより、管理者は従来よりも簡単に設定可能となりました。
さらに、ネットワーク機能が強化され、VLAN機能を標準搭載したことにより、ネットワーク構成の柔軟性が向上しました。
ネットワールドは、「Equalizer LXシリーズ」のその他のモデルも、コヨーテ・ポイント社のリリースに合せて順次、発売・出荷する予定です。

（※1）新シリーズの「E370LX」と従来シリーズの同等モデル「E350GX」（Equalizer GXシリーズ）とのスループットの比較

◆「Equalizer E370LX」の主な製品仕様

ポート構成： 1GE×6ポート
スループット： 4.8Gbps
L7 Requests Per Second： 75,000TPS
SSL TPS(ソフトウェア処理)： 2,000TPS（2048bit）

◆「Equalizer E370LX」の価格と販売開始時期

◇販売開始 ： 2013年4月3日
◇出荷開始 ： 2013年5月 初旬（予定）

◇販売価格：1,320,000円（税別）

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com